

# 配筋検査ARシステム「BAIAS」 「円弧モード」 ご利用ガイド

2025年12月作成  
株式会社GRIFFY



円弧モードは、正円の円弧状に配置された鉄筋を対象に、鉄筋間隔や本数の計測が可能な計測モードです。全体を写真に収めることが困難な大型の円弧状鉄筋の間隔を計測することが可能であり、主に、大型地下貯水槽や円形立杭の壁体など、現場で鉄筋を組んでコンクリートを打設する構造物向けに設計されています。

## (1) 事前準備

通信環境下にて、iPadPro端末からBAIASアプリのバージョンアップをお願いします。

### <クラウドプランご利用時の手順>


②・③の手順により表示される画面例

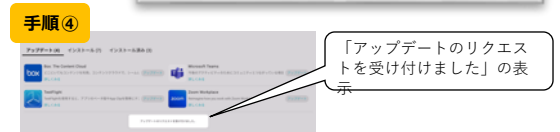
- ①iPad ProでApp Storeアプリ  を開きます。
- ②App Storeアプリ画面右上の  または写真をタップします。 ※App Storeアプリ上で「BAIAS」を検索し、アップデートを行うことも可能です。
- ③下にスクロールしてから、アプリの横にある「アップデート」をタップします。  
アプリのバージョンアップが実行されます。



### <端末レンタルプランご利用時の手順>

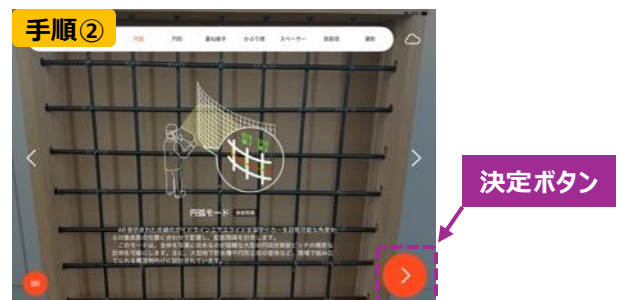
弊社からレンタル提供されたiPad Pro（端末）にインストールされた「LANSCOPEClient」アプリから、以下の手順でアップデートを実施してください。

- ①LANSCOPEClientアプリを起動します。  
アプリのアップデートがあるため、右図のようにLANSCOPEアイコンに更新件数が表示されます。
- ②カタログ画面を開き、検索欄横の更新ボタン  をタップします。
- ③「アップデート」タブにBAIASと表示されますので、ボタンをタップします。
- ④画面中央に「アップデートのリクエストを受け付けました」と表示されます。
- ⑤自動でアップデートが始まります。  
始まらない場合は、アイコンをタップしてアップデートを実施してください。



## (2) 計測モード選択

- ①BAIASアプリを起動して、保存先選択画面で検査データの保存先を選択します。  
保存先は、あらかじめBAIASクラウド側で作成しておく必要があります。
- ②計測モード選択画面から「円弧モード」を選択し、画面右下にあるオレンジ色の「決定」ボタンをタップします。



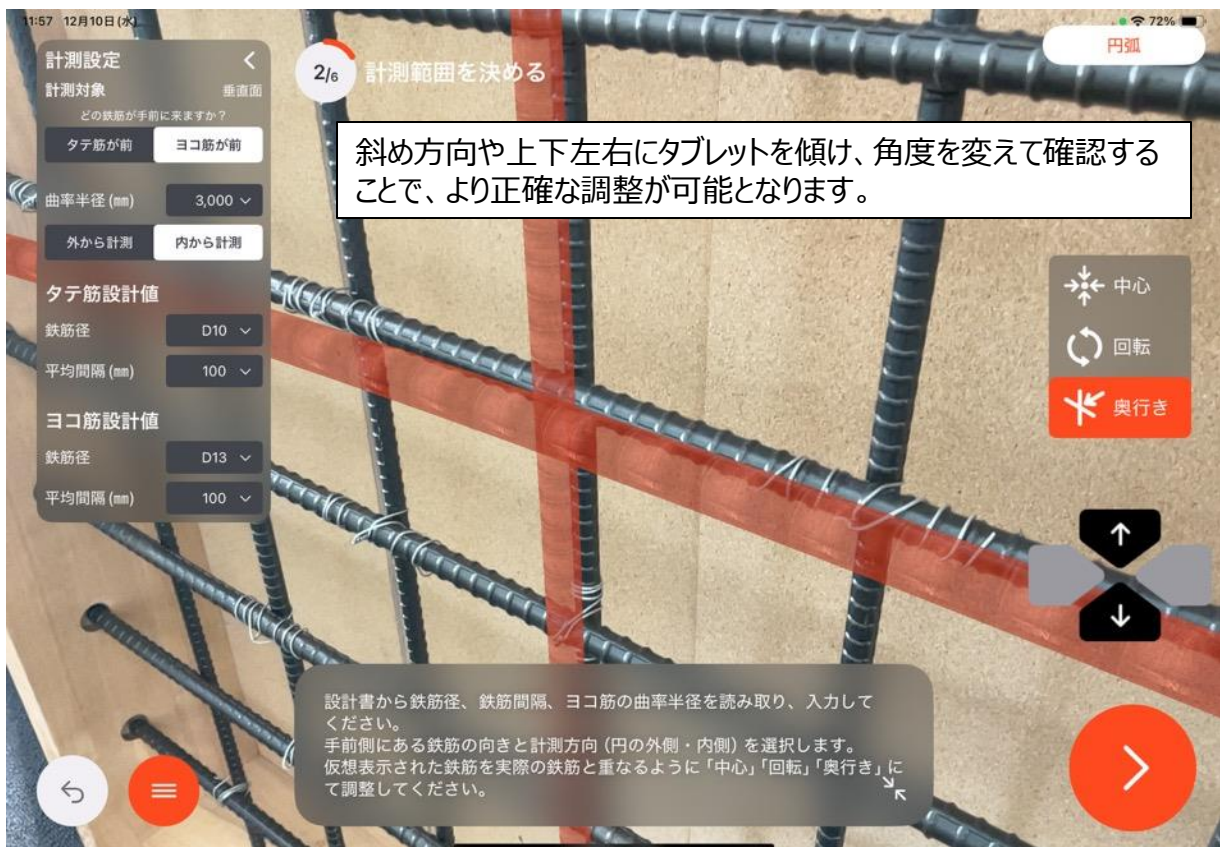
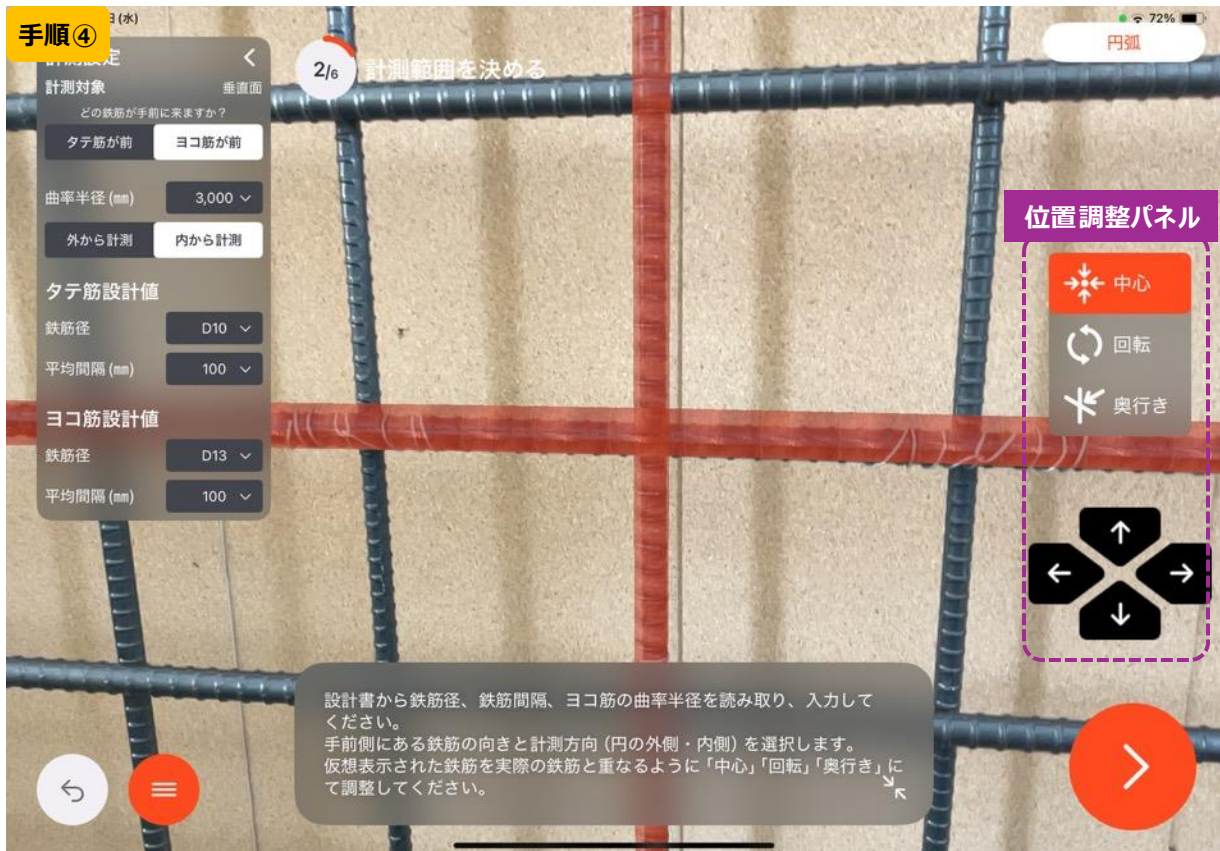
### (3) 計測範囲の設定

- ①計測したい対象の方向に向けてタブレットを傾け、計測方向が水平か垂直かを選択します。
- ②計測する範囲の中央となる鉄筋の交点（計測開始点）を決め、画面中央に表示される黄色い点をできるだけ計測開始点に近づけて、決定ボタンをタップします。
- ③画面左上に計測設定パネルが表示されますので、設計図などを参照のうえ、計測対象とする円弧状鉄筋の曲率半径と、縦横それぞれの鉄筋径および平均間隔の設計値を入力します。  
あわせて、実際の鉄筋の組み方にあわせた配置の指定を行うとともに、円弧状鉄筋を円弧の内側から計測するか、外側から計測するかを選択します。



### (3) 計測範囲の設定 (続き)

- ④ 3次元モデルとして表現された赤い鉄筋のARオブジェクトに設計値が反映されます。3次元モデルの鉄筋と実際の鉄筋がぴったり重なるように、右側の位置調整パネルを操作して、中心、回転、奥行きを調整します。調整完了後、決定ボタンをタップします。



## (4) 撮影ポジションの決定

- ①計測後に撮影したい範囲が画面内に収まるように計測者の位置を移動して、決定ボタンをタップします。
- ②タブレットの位置を急激に変更した際にARオブジェクト（赤い鉄筋）がずれてしまう可能性があることから、必要に応じて、前ページと同じ手順でオブジェクトの位置を再調整します。

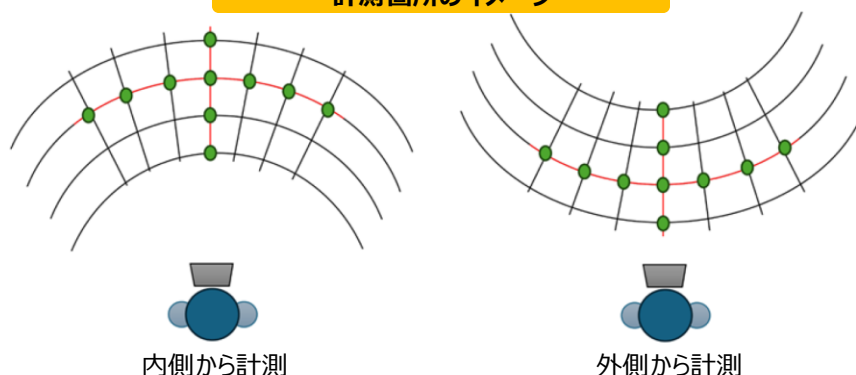


## (5) 計測

- ①タブレットの傾きに連動して、画面上に置かれたARマーカースが移動しますので、実際の鉄筋と重なるようにマーカー追加ボタンを押して、適切な位置にマーカーを1本ずつ追加していきます。
- ②計測開始点付近でタブレットを傾けることで、縦筋配置と横筋配置を切り替えます。円弧状に配置された縦筋に対して、実際の鉄筋と重なるようにマーカーを追加します。マーカーを配置し終わったら、右下のマーカー配置終了ボタンをタップします。

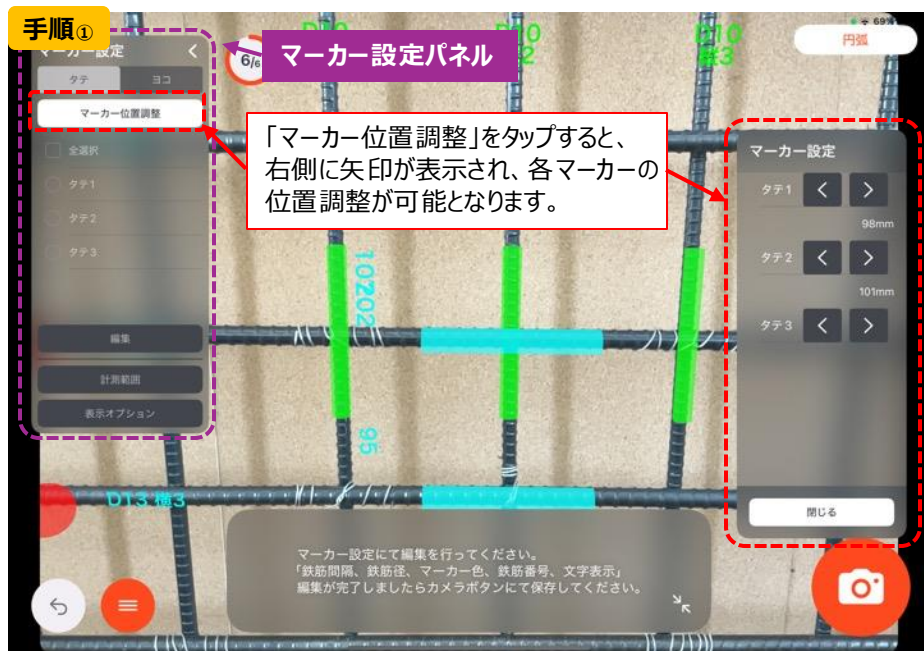


### 計測箇所のイメージ



## (6) 撮影に向けた最終調整

- ①撮影モードに移行後、左側のマーカー設定パネルの「マーカー位置調整」をタップすると、配置した各マーカーの位置を調整することができます。
- ②また、マーカー設定パネル上で対象マーカーを選択し、「編集」ボタンをタップすることで、選択したマーカーの色や鉄筋径、鉄筋番号を変更することができます。



## (7) 撮影

- ① マーカー設定パネル上で「表示オプション」ボタンをタップすることで、鉄筋番号や計測結果の表示位置・文字サイズの変更、および個別項目の表示／非表示を選択することができます。
- ② 表示の調整が終わりましたら、右下の撮影ボタンをタップします。計測したデータをAR重畳表示した画像のプレビューが表示されます。プレビュー画面で保存ボタンをタップすることで、指定した保存先に画像が格納され、計測は終了となります。

